「苦難の意味」
（詩篇119篇71節）

長谷川　与志充

序）苦難の意味

「苦しみにあったことは、私にとって幸せでした。それにより、私はあなたのおきてを学びました。」（詩篇１１９・７１）

１）私達の成長

「私の兄弟たち。様々な試練にあうときはいつでも、この上もない喜びと思いなさい。あなたがたが知っているとおり、信仰が試されると忍耐が生まれます。その忍耐を完全に働かせなさい。そうすれば、あなたがたは何一つ欠けたところのない、成熟した、完全な者となります。」（ヤコブ１・２～４）

「私たちの一時の軽い苦難は、それとは比べものにならないほど重い永遠の栄光を、私たちにもたらすのです。」（Ⅱコリント４・１７）

２）神の顕現

「見よ。このわたしがエジプト人の心を頑なにする。彼らは後から入って来る。わたしはファラオとその全軍勢、戦車と騎兵によって、わたしの栄光を現す。」（出エジプト１４：１７）

「苦難の日に　わたしを呼び求めよ。わたしはあなたを助け出し　あなたはわたしをあがめる。」（詩篇５０：１５）

３）人々の慰め

「神は、どのような苦しみのときにも、私たちを慰めてくださいます。それで私たちも、自分たちが神から受ける慰めによって、あらゆる苦しみの中にある人たちを慰めることができます。・・・私たちが慰めを受けるとすれば、それもあなたがたの慰めのためです。その慰めは、私たちが受けているのと同じ苦難に耐え抜く力を、あなたがたに与えてくれます。」（Ⅱコリント１：４、６）

結）神への確信と賛美

「あらゆる恵みに満ちた神、すなわち、あなたがたをキリストにあって永遠の栄光の中に招き入れてくださった神ご自身が、あなたがたをしばらくの苦しみの後で回復させ、堅く立たせ、強くし、不動の者としてくださいます。どうか、神のご支配が世々限りなくありますように。アーメン。」（Ⅰペテロ５：１０、１１）

礼拝ノート

日	年　月　日	聖書	
題		名前	